公益財団法人 住友電エグループ社会貢献基金 事業報告書

(自平成26年4月1日至平成27年3月31日)

1. 事業の概要

(1) 平成26年度の事業概況

第6期の平成26年度は、寄付金収入として住友電気工業株式会社と当基金の趣旨への 賛同者から総額133,274千円余を受け、事業として大学講座寄付9件、 実施金額92,000千円と、奨学金支給98名、実施金額24,955千円余、 学術・研究助成19件、実施金額21,800千円の、総額138,755千円余の 助成事業を実施しました。

		実施金額
(イ) 大学講座寄付	9件	92,000千円
(ロ) 奨学金支給	98名	24,955千円余
(ハ) 学術・研究助成	19件	21,800千円
合 計		138,755千円余

(2) 平成26年度の経理状況

事業活動収支は、収入面では、寄付金収入として住友電気工業株式会社から 131,774千円余(カフェテリアプランを通じた寄付金774千円余を含む)と 当基金の趣旨への賛同者から1,500千円の寄付を受け、総額133,274千円余となり、これに基本財産運用収入18,793千円余を加え、収入合計は予算対比3,786千円余増の152,068千円余となりました。

一方、支出面では、事業費支出は、ほぼ当初計画通りに実施しましたが、学術・研究助成の実施金額を増額した一方、海外の現地学生への新規奨学金を延期したことにより、

予算対比385千円余増の139,185千円余となりました。

管理費支出は、会議費、消耗品費ほかで経費支出の抑制に努めた結果、管理費合計では 予算対比126千円余減の12,643千円余となり、事業活動支出合計は

予算対比258千円余増の151,828千円余となりました。

投資活動収支及び財務活動収支については、今年度も国債を購入しておりませんので投資有価証券取得支出はございませんでした。

以上の結果、当期収支差額は239千円余の黒字となり、前期繰越収支差額9,521千円余とあわせて9,760千円余を次期に繰り越しました。 指定正味財産増減計算は、今期、基本財産の増減はなく、期末の指定正味財産は2,000,00千円で変動はございません。

(3) 平成26年度事業

平成26年3月17日開催の第23回理事会で決議・承認された事業計画に基づいて、 次の大学講座寄付、奨学金支給、学術・研究助成を実施しました。

(イ) 大学講座寄付

エネルギー・バイオテクノロジー・医療をはじめとする最新テクノロジー探求、地球環境等現代の諸問題への対応、ものづくり対応の基礎教育への取組みなど、優れた研究を行う大学講座に対し寄付を行うもので、平成26年度は継続案件6件に加え、科学技術アントレプレナーの育成を目指す実践的教育に取組む講座を募集し、新規に大学講座3件を選考、合計9件、総額92,000千円の寄付を行いました。

大学名	講座名	金額(千円)	
大阪大学	国際環境生物工学講座	15,000	
大学院工学研究科		10,000	
大阪大学	 ものづくり技術者、研究者養成講座	4,000	
大学院工学研究科	0.7 - (7)An a (9)76 a A/94m	1, 0 0 0	
東北大学	 ニューロ・イメージング研究	18,000	
未来医工学治療開発センター	. () (1.7.9)	10,000	
神戸大学	 津波マリンハザード研究講座	10,000	
大学院海事科学研究科		,	
一橋大学	 震災・原発事故からの復興に向けた環境法政策講座	10,000	
大学院法学研究科		,	
佐賀大学	 高齢慢性心疾患における終末期医療に関する研究	15,000	
医学部循環器内科		,	
京都大学	工学の高度人材に対し、科学技術	1 0 0 0 0	
工学研究科光•電子理工学	アントレプレナー育成のための実践的教育(※)	10,000	
教育研究センター			
電気通信大学	IT融合とビッグデータ利活用イノベーション	8,000	
1.24	人材(データアントレプレナー)育成講座 (※)	·	
東京大学	実践的若手アントレプレナーの育成、教育(※)	2,000	
産学連携本部	<u> </u>	0.0.00	
	合 計	92,000	

(※) 新規案件

(口) 奨学金支給

日本で就学する外国人留学生、及び海外の大学に在学する現地学生のうち、学業並びに他の分野でも模範となるよう研鑽に努め、専門分野のみならず幅広い知識と見識を求め、大学・大学院においては科学技術分野を専攻する学生を対象として、平成26年度は、選考の結果、下記の奨学生に対し、奨学金を支給しました。

	奨学生		実施額(千円)	実施時期
日本の外国人 留学生	継続 9名(※1) 東京大学1、京都大学1、大阪大学1、 東北大1、名古屋大1、一橋大1、 東京工業大学1、慶應義塾大1、 早稲田大1		9,600	平成26年 4月~ 平成27年 3月
	新規 9名 東京大学 1、京都大学 1、大阪大学 1、 東北大 1、名古屋大 1、一橋大 1、 東京工業大学 1、慶應義塾大 1、 早稲田大 1		10,800	平成26年 4月~ 平成27年 3月
	計	18名	20,400	
海外の大学	蘇州大学 中山大学	2 0名 1 0名	約1,197 約509	平成27年 2月 平成26年 8月
現地学生(※2)	上海外国語大学	10名	約598	平成26年11月
	泰日工業大学	20名	約1,099	平成26年8月
	ハノイ工科大学	20名	約1,152	平成27年3月
	計	8 0名	約4,555	
	合計	98名	約24,955	

- (※1)継続奨学生9名のうち2名は平成26年9月をもって奨学金支給を終了。
- (※2) 海外の大学現地学生の新規募集をタイで実施する予定が現地情勢不安により延期。

(ハ) 学術・研究助成

科学技術の基礎研究、地球環境等現代の諸問題に関する研究、産業発展に関する研究等 科学技術の発展に対して意義が大きいと当財団が認めた研究に助成を行うもので、 平成26年度は、応募総数101件の中から選考の結果、19件、総額21,800千円の 助成を行いました。

(研究者 50 音順、敬称略、単位:千円)

研究者	所属	役職	研究テーマ	助成金額
井上壮志	東北大学	助教	非線形磁気光学回転効果に基づく光学脳磁計の開発	1,300
大村一史	山形大学	准教授	視線計測を利用した発達性読み書き障害のための ビジョントレーニングメソッドの開発	500
岡本浩明	山口大学	准教授	非プロトン性有機ゲル化剤を基盤とした新規な二酸化炭素分離・ 回収材料の開発	900
小野亮	東京大学	准教授	プラズマ癌治療の原理解明に向けたプラズマの 活性種計測と癌への照射実験	1,450
片岡祐介	島根大学	助教	超効率的に水の光分解を行う多核金属錯体触媒の開発と革新的展開	950
藏重亘	東京理科大学	助教	活性部位の原子レベル厳密組成制御技術を駆使した 高活性水分解光触媒の創製	1,500
近藤輝幸	京都大学	教授	光超音波/磁気共鳴イメージングのための 生体適合性ナノ粒子プローブの創製	1,550
志築文太郎	筑波大学	准教授	能動的な音響計測に基づく操作者認証	1,650
清水正毅	京都工芸繊維大学	教授	電気化学発光素子への応用を指向した発光性イオン液体の創製	700
鈴木祐麻	山口大学	助教	重金属の土壌中金属酸化物への選択的濃縮現象: 機構解明と先駆的土壌浄化技術への活用	1,600
高井知子	広島大学	特任 助教	小胞体機能制御による難治性神経変性疾患の克服に 向けた新規治療基盤の構築	1,650
髙橋康宏	岐阜大学	助教	エネルギーをリサイクルするエナジーハーベスト向け 半導体集積回路に関する研究	1,050
竹岡敬和	名古屋大学	准教授	機能性黒色物質を利用した角度依存性のない構造発色性材料の構築	1,300
新苗正和	山口大学	教授	ヒドロキシオキシム系抽出剤による Cu, Ni および Co の 溶媒抽出分離プロセスの開発	400
秦猛志	東京工業 大学	准教授	サスティナブルな鉄触媒の精密制御による新規合成手法の開発	600
藤本典嗣	福島大学	准教授	小規模生活圏における再生可能エネルギー発電の地域経済分析	900
増原陽人	山形大学	准教授	有機薄膜太陽電池を指向した三層構造コアーシェル型 ハイブリッドナノ粒子の創生	1,450
水口将輝	東北大学	准教授	磁性ナノ微粒子を含むグラニュラー構造の創製と 太陽光電力変換素子への応用	1,500
村上俊也	和歌山大学	助教	カーボンナノチューブ DDS の基盤技術形成	850
	•	•	合 計	21,800

2. 役員·評議員(平成27年3月31日現在)

(50 音順)

役 名	氏 名	主たる職業
理事長	松本 正義	住友電気工業株式会社 社長
常務理事	賀須井良有	住友電気工業株式会社 常務取締役 人事総務部長
理事	井上 治	住友電装株式会社 代表取締役執行役員社長
	藤井 昭	住友理工株式会社 顧問
	松澤 佑次	一般財団法人住友病院 院長
	吉川 弘之	独立行政法人 科学技術振興機構研究開発戦略センター センター長
監事	谷 信	住友電気工業株式会社 常務取締役
	高坂 敬三	色川法律事務所 弁護士
評議員	天野 嘉一	日新電機株式会社 代表取締役会長
	伊東 浩司	甲南大学 スポーツ・健康科学教育研究センター 准教授
	乙幡 範	株式会社テクノアソシエ 特別顧問
	菅沼 敬行	住友電設株式会社 代表取締役会長
	竹中 裕之	住友電気工業株式会社 副社長
	田中茂	住友電気工業株式会社 専務取締役
	三野 哲治	住友ゴム工業株式会社 取締役会長
	山内 直人	大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授

(注) 稲山秀彰氏(監事)は辞任により、平成26年6月2日付で監事を退任致しました。

3. 主要な事業経過

平成26年 5月21日 第24回理事会(書面決議)

- ・第5期定時評議員会招集の件
- ・第5期定時評議員会付議事項の件

6月2日 第25回理事会開催

・平成25年度(第5期)事業報告及び計算書類等承認の件

第5期定時評議員会開催

- ・評議員1名選任の件
- ・理事2名選任の件
- ・監事1名選任の件

第26回理事会開催

- ・役付役員選任の件
- ・平成26年度事業(奨学金支給)実施の件

7月4日 第1回選考委員会開催

・申請書類閲覧及び選考方法確認の件

9月17日 第2回選考委員会開催

- ・平成26年度大学講座寄付先選考の件
- ・平成26年度学術・研究助成先選考の件

10月6日 第27回理事会開催

- ・平成26年度事業(大学講座寄付)実施の件
- ・平成26年度学術・研究助成の交付対象者並びに交付金額 決定の件

平成27年 3月2日 第28回理事会

- ・平成27年度事業計画及び同収支予算承認の件
- ・平成27年度事業(奨学金支給)実施の件